

学歴文書認証

日本で作成された文書は、台湾関係官庁への提出前に各管轄の弁事処(東京・横浜・大阪・福岡・沖縄・札幌)による認証を必要とされる場合があります。

認証の要否については、台湾の提出先機関に確認してください。

領事業務の管轄規定について

『外交部及び在外公館での文書証明条例』により、認証は文書発行地を管轄とする在外公館に限ります。

本大阪弁事処 管轄区域	近畿地方	大阪府	京都府	兵庫県	滋賀県	奈良県	和歌山県
	東海地方	愛知県	岐阜県	三重県			
	北陸地方	富山県	石川県	福井県			
	中国地方	鳥取県	島根県	岡山県	広島県		
	四国地方	徳島県	香川県	愛媛県	高知県		

～ 文書種類 ～

公文書	<p>管轄内の教育機関にて発行された文書</p> <p>例.在学証明書・卒業証書・学位記・成績証明書等</p> <p>注1)本処管轄外で発行された公文書は不可(2019/12/01～)</p> <p>注2)文部科学省の学校コード一覧に未記載の学校は要事前公証 文部科学省の学校コード一覧</p> <p>注3)パスポートと同姓同名であること</p> <p>異なる場合、同一人物である証明書類[住民票・運転免許証等]を要提出</p> <p>注4)在学証明書…直近3ヶ月以内発行に限る</p> <p>注5)複数頁にわたる場合…全頁に要割印</p> <p>注6)公文書と私文書をひとまとめにした事前公証は不可</p>
	<p>管轄内を居住地とする個人が作成した文書</p> <p>例.本文に対する訳文等(訳文の要否:提出先機関の判断に依る)</p> <p>注1)事前公証…本処管轄内の公証役場に限り 公証役場一覧</p> <p>各文書に分けて一組(本文コピー+訳文)ずつ個別で公証を受けること</p> <p>注2)要訳文の場合…本文と要同時認証</p> <p>○本人申請</p> <p>領事の面前にて署名が必要な為、未署名の訳文を要提出</p> <p>○代理申請</p> <p>a.申請者の本人署名</p> <p>—要事前公証:必ず本人が公証役場に出向くこと</p> <p>本文は本処にて直接認証が必要な為、 [公文書コピー+訳文]に公証を受けること</p> <p>b.代理人の代理署名</p> <p>—代理人名義の申請表(訳文用)が別途必要</p> <p>—代理委任状に訳文代署の旨を要明記</p> <p>—領事の面前にて署名が必要な為、未署名の訳文を要提出</p>
私文書	

～ 必 要 書 類 ～

◆本人申請

1	申請表
2	認証文書の原本 ※要認証部数
3	認証文書の全頁コピー ※認証部数と要同部数
4	申請者の顔写真付公的身分証明書(パスポート或は運転免許証)とそのコピー * 運転免許証は要両面コピー 一個人情報保護委員会の規定により、身分証明目的のマイナンバーカード使用は不可 ※日本国籍以外の外国籍の方 ①パスポートとそのコピー ②在留カード所持者…原本とその両面コピー
費用	現金 2,300円 / 1部 ※受理後のキャンセルは不可

◆代理申請

1	申請表
2	認証文書の原本 ※要認証部数
3	認証文書の全頁コピー ※認証部数と要同部数
4	申請者の顔写真付公的身分証明書(パスポート或は運転免許証)のコピー * 運転免許証は要両面コピー 一個人情報保護委員会の規定により、身分証明目的のマイナンバーカード使用は不可 ※日本国籍以外の外国籍の方 ①パスポートのコピー ②在留カード所持者…両面コピー
5	代理委任状原本 ○署名の場合…パスポートと同書式で要署名 ○押印の場合…要印鑑証明書
6	代理人の顔写真付公的身分証明書(パスポート或は運転免許証)とそのコピー * 運転免許証は要両面コピー 一個人情報保護委員会の規定により、身分証明目的のマイナンバーカード使用は不可 ※日本国籍以外の外国籍の方 ①パスポートとそのコピー ②在留カード所持者…原本とその両面コピー
費用	現金 2,300円 / 1部 ※受理後のキャンセルは不可

～ 必要書類 ～

◆郵送申請

1	申請表
2	公文書・・・認証文書の原本 ※要認証部数
	私文書・・・公証済みの認証文書原本 ※要認証部数 <p style="text-align: center;">—必ず本人が公証役場に出向き、公証を受けること(代理公証は不可)</p>
3	認証文書の各全頁コピー ※認証部数と要同部数
4	申請者の顔写真付公的身分証明書(パスポート或は運転免許証)のコピー <p style="text-align: right;">* 運転免許証は要両面コピー</p> <p>—個人情報保護委員会の規定により、身分証明目的のマイナンバーカード使用は不可</p> <p>※日本国籍以外の外国籍の方①パスポート(要署名済)のコピー ②在留カード所持者・・・両面コピー</p>
費用	現金 2,300円 / 1部
返送用封筒	日本在住者・・・レターパックライト:全項目を記入後、追跡用として事前に「ご依頼主様保管用シール」を剥がしておくこと 台湾在住者・・・「EMS専用ラベル・A4/2枚組」(国際郵便サイトにて作成しプリントアウト)及び「1,450円分切手」と共に同封すること 宛先は個人に限られ政府機関等は不可 但し、可能な限り日本在住者による代理受取を検討してください。
郵送方法	現金書留 ・・・書類と費用が別々の郵送になる場合、その旨を要追記
宛先	〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー17階 台北駐大阪経済文化弁事処 領務部 文書認証係 TEL:06-6227-8623
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・書類不備や本処管轄外の文書は、認証不可とみなし着払い返送 ・本処に申請書類が届いてから、約5開館日後の返送 ・郵送に関する通知連絡は行っていない為、自身で追跡番号を要保管

台北駐大阪経済文化弁事処

